

議会運営委員会

「議会改革」研修参加報告

1月15・16日 千葉県千葉市

美浜区にある市町村職員研修所において「市町村議会議員特別セミナー」が開催され、本町議会から正副議長、議会運営委員4名の計6名が参加しました。

法政大学法学部教授で自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表でもある廣瀬克哉氏から「地方議会の役割

と改革の行方」について講演後、廣瀬教授のコーディネーターで、北海道福島町議会の溝部幸基議長、千葉県流山市議会の松野豊議員、岐阜県高山市議会の中田清介議員をパネリストに、「どこまですんだー議会改革」と題してパネルディスカッションが行われました。

既に基本条例を制定している議会の報告においても、現在の議会の状況をいかに住民に知らせるか、住民の考えをいかに拾うか、いかに住民とともに政策について提言をしていくか、基本条例のもと、住民の目線に立って活動している様子があるかがええました。

本町議会においても、今後基本条例を制定し、町民にとつてわかりやすく、参加できる議会活動をすべきと思います。

(渋谷福重)

議会生中継を再開

大震災以降停止しておりました「議会生中継システム」の利用を再開いたしました。

「議会生中継システム」とは、インターネットを利用して、議会の生中継の放送を見ることが出来るシステムです。「議会ホームページ」トップページの「議会中継」をクリックすれば動画が見られます。

なお、次の定例会は3月7日から開催予定ですので、ぜひ、ご覧ください。



議会改革研修に参加

私もひと言



安藤 宏美
(前田町内会)

8年ぶりに交代した新町長の町政方針及び抱負などを拝聴すべく議場へ足を運びました。国見町の喫緊の課題は、震災復興と原発事故による放射能の除染です。そして一日も早く安心して住める郷土を取り戻すことです。

また、少子高齢化が進行する中でいかにして街の活性化をはかり、活力ある街づくりをするかにあると思います。

このような厳しい課題山積の中で誕生した新町長には、今まで培われた豊かな行政経験と優れたリーダーシップをもって当町の諸課題に対し果敢に挑戦して頂きたいと大きな期待を持っております。

議員の皆様も、認識を共有し一般質問のなかでは、新町長の政治理念、その姿勢、街づくりへの思い、また「活力のある街づくりはいかに」との質問が多く出されたように思いました。

新町長は、これら諸課題の解決、実現に当たっては町民と一緒に「オール国見」で全力を尽くすという力強い表明がありました。

しかし、これはオール町民の絶大なるバックアップ、支えがあって初めて実現出来るものと強調されました。

私たちも、さらに我が町が良くなるように他人任せにせず少しでも町政に関心を持ち、それぞれの立場で出来ることを行うという積極的姿勢が大切ではないかと思えます。

そして、国見町がより一層安心して住み良い便利な町になることが共通の願いではないでしょうか。



村上正勝議員

Q 藤田駅前 公営駐車場を

A 既存の駐車場経営を 圧迫しないか

一般質問

問 藤田駅前駐車場は不足しており、桑折駅を利用する町民もいる。駅前公園は利用者も少なく駐車場として有効活用すべきと思うが町の考えは。

建設課長 駅前には民間駐車場として100

0台分あり、うち半分程度使用されている。また、駅前広場は整備

されて、まだ7年しか経過していない。用途変更は経費の二重投資となり慎重な対応が必要である。更に、民間の駐車場経営を圧迫しないよう経営者との十分な協議が必要である。整備については今後慎重に検討をする。

桃せん孔病対策の 進捗状況は

問 桃産地として存続が危うい状況である。現在まで、具体的に決定した対策は。

産業振興課長 9月議会以降、果樹

研究所の専門職員によるせん孔病の勉強会、

桃農家・関係機関との意見交換会、改植事業

説明会を開催した。その結果、今年度は桃の改植を約12％実施する。また、防除用薬剤購入費の一部助成については各農協から関係書類が提出され次第、速やかに補助金を交付する。

問 雨が降ると校庭が沼のようにな

国見小学校の校庭を 改善せよ

るとの父兄の声があるが。



スポーツ伝(国見小学校庭)

問 雨が降ると校庭が沼のようにな

教育次長 小学校の体育館

開発許可制度により敷地内に調整池が必要であった。しかし、敷地が手狭なので校庭を調整池とする方法しかなかった。更に、除染で校庭の水はけが悪くなった。その後、砂を入れることにより徐々に改善されている。現在、状況を見守っている。

開発許可制度

市街地の無秩序な開発防止と良好な宅地水準を確保するために排水設備等施設の整備が義務づけられている。調整池は30年に一度の豪雨を想定し、排水が河川に流れ込み氾濫を未然に防止するためのもの。平成18年から学校等の公共施設も設置が義務付けられた。

県北浄化センターの 汚泥問題

問 汚泥問題の対処方針を聞く。

町長

全量場外搬出が基本であると、県への町長就任あいさつの際伝えてある。更に、浄化センターを利用している福島市、伊達市、桑折町との連携を図り速やかなる場外搬出に向け、県にはしっかり申し上げていく。



通勤・通学時間帯の藤田駅前